



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 シークス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7613 URL <http://www.siix.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桔梗 芳人  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大野 精二 (TEL) 06-6266-6415  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績 (平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	170,407	8.4	6,965	3.9	7,532	11.7	5,240	△3.0
28年12月期第3四半期	157,157	△10.1	6,704	2.3	6,744	0.5	5,401	6.0

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 5,032百万円( -%) 28年12月期第3四半期 △2,301百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	212.78	200.60
28年12月期第3四半期	215.05	202.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	125,030	55,261	43.9
28年12月期	109,695	51,573	46.8

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 54,882百万円 28年12月期 51,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	-	24.00	-	26.00	50.00
29年12月期	-	26.00	-	-	-
29年12月期(予想)	-	-	-	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 28年12月期期末配当金の内訳 記念配当 2円00銭

3. 平成29年12月期の連結業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	8.1	10,500	15.0	10,500	14.8	7,600	13.5	308.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) SIIX COXON PRECISION PHILS., INC. 、除外 1社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期3Q	25,200,000株	28年12月期	25,200,000株
29年12月期3Q	572,827株	28年12月期	573,002株
29年12月期3Q	24,627,000株	28年12月期3Q	25,115,818株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済環境を顧みますと、米国では、雇用環境の改善や個人消費の増加を背景に、景気は着実に回復が続いております。欧州では、失業率の低下傾向が見られ、ドイツなどの先進国を中心に景気は緩やかに回復しております。アジアにおいて、中国では各種政策効果もあり、景気は持ち直しの動きが続いております。その他アジアにおいても景気は回復基調が継続しております。日本では、企業収益が改善するなか、設備投資も持ち直しております。また個人消費は緩やかながらも持ち直しの傾向が見られます。

このような状況下、当社の当第3四半期連結累計期間の業績において、売上高は1,704億7百万円となり、前年同期に比べて132億4千9百万円の増加(8.4%増)となりました。利益面では、営業利益は69億6千5百万円と前年同期に比べて2億6千1百万円の増加(3.9%増)となり、経常利益は75億3千2百万円と前年同期に比べて7億8千7百万円の増加(11.7%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は52億4千万円となり、前年同期に比べて1億6千万円の減少(3.0%減)となりました。

セグメント別の業績および要因は次のとおりであります。なお、本文中の「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益を基礎としております。

#### ①電子(日本)

車載関連機器用部材や産業機器用部材の出荷が増加したことにより、当セグメントの売上高は535億3千6百万円と前年同期に比べて36億1千6百万円の増加(7.2%増)となりました。セグメント利益は19億6千5百万円と前年同期に比べて5億7千万円の増加(40.9%増)となりました。

#### ②電子(アジア)

車載関連機器用部材の出荷が増加したことにより、当セグメントの売上高は1,274億1千7百万円と前年同期に比べて113億1百万円の増加(9.7%増)となりました。セグメント利益は42億7千9百万円と前年同期に比べて1千2百万円の減少(0.3%減)となりました。

#### ③電子(欧州)

車載関連機器用部材の出荷が増加したことにより、当セグメントの売上高は89億1千9百万円と前年同期に比べて25億9千2百万円の増加(41.0%増)となりました。セグメント利益は2億6百万円と前年同期に比べて3千5百万円の減少(14.6%減)となりました。

#### ④電子(米州)

車載関連機器用部材の出荷が増加したことにより、当セグメントの売上高は380億4千2百万円と前年同期に比べて67億3百万円の増加(21.4%増)となりました。利益面では、メキシコ工場第2棟の本格稼働に向けた先行投資により発生した費用等により、セグメント利益は18億2百万円と前年同期に比べて1億9千2百万円の減少(9.7%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ153億3千4百万円増加し、1,250億3千万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加によるものです。

負債につきましては、負債合計が前連結会計年度末に比べ116億4千7百万円増加し、697億6千8百万円となりました。これは主に、借入金の増加によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ36億8千7百万円増加し、552億6千1百万円となりました。

この結果、自己資本比率は46.8%から43.9%に減少いたしました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年2月13日に公表しております平成29年12月期の連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したSIIX COXON PRECISION PHILS., INC. を連結の範囲に含めております。

なお、SIIX COXON PRECISION PHILS., INC. は当社の特定子会社に該当しております。

(2) 追加情報

繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,813	8,889
受取手形及び売掛金	41,873	45,310
商品及び製品	20,483	22,802
仕掛品	1,007	1,166
原材料及び貯蔵品	7,026	9,567
その他	2,994	4,706
貸倒引当金	△34	△32
流動資産合計	82,164	92,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,397	7,995
機械装置及び運搬具(純額)	6,422	7,858
土地	2,532	2,533
その他(純額)	1,526	904
有形固定資産合計	16,878	19,291
無形固定資産	454	583
投資その他の資産		
投資有価証券	3,192	2,638
出資金	3,969	7,318
その他	3,622	3,372
貸倒引当金	△585	△585
投資その他の資産合計	10,198	12,743
固定資産合計	27,531	32,618
資産合計	109,695	125,030

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,752	32,291
短期借入金	9,569	17,016
未払法人税等	754	1,003
その他	5,530	7,514
流動負債合計	46,605	57,826
固定負債		
新株予約権付社債	6,000	5,999
長期借入金	1,602	1,651
退職給付に係る負債	468	466
その他	3,444	3,826
固定負債合計	11,516	11,942
負債合計	58,121	69,768
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	5,624	5,624
利益剰余金	41,020	44,645
自己株式	△2,027	△2,026
株主資本合計	46,761	50,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	745	682
繰延ヘッジ損益	4	2
為替換算調整勘定	4,008	3,969
退職給付に係る調整累計額	△187	△160
その他の包括利益累計額合計	4,570	4,494
新株予約権	—	24
非支配株主持分	241	354
純資産合計	51,573	55,261
負債純資産合計	109,695	125,030

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	157,157	170,407
売上原価	142,499	153,895
売上総利益	14,658	16,511
販売費及び一般管理費	7,954	9,546
営業利益	6,704	6,965
営業外収益		
受取利息	62	45
受取配当金	131	73
持分法による投資利益	141	107
不動産賃貸料	78	82
為替差益	—	161
物品売却収入	25	88
スクラップ売却益	87	125
その他	209	189
営業外収益合計	736	873
営業外費用		
支払利息	79	130
為替差損	527	—
その他	88	176
営業外費用合計	695	306
経常利益	6,744	7,532
特別利益		
投資有価証券売却益	58	—
特別利益合計	58	—
特別損失		
臨時損失	—	143
特別損失合計	—	143
税金等調整前四半期純利益	6,802	7,389
法人税、住民税及び事業税	1,834	2,172
法人税等調整額	△431	50
法人税等合計	1,403	2,222
四半期純利益	5,399	5,166
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△73
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,401	5,240

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	5,399	5,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65	△62
繰延ヘッジ損益	1	△1
為替換算調整勘定	△7,507	△42
退職給付に係る調整額	21	25
持分法適用会社に対する持分相当額	△151	△51
その他の包括利益合計	△7,700	△133
四半期包括利益	△2,301	5,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,263	5,112
非支配株主に係る四半期包括利益	△37	△79

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

臨時損失

スロバキア・ニトラ市の外国人労働者の労働許可の取扱い変更にともない、多数の工場従業員が国外退去処分となることで一時的に労働力が不足したため、一部の顧客のビジネスについて、当社グループの他工場へ生産移管したことに対するロジスティック費用等を当社グループが負担したことにより発生したものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子 (日本)	電子 (アジア)	電子 (欧州)	電子 (米州)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,438	93,227	5,696	21,128	150,491	6,666	157,157
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,481	22,888	629	10,210	53,210	591	53,801
計	49,919	116,115	6,326	31,339	203,701	7,257	210,959
セグメント利益	1,394	4,292	242	1,995	7,924	15	7,939

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主要な製品および商品はワイヤーハーネス部材、オートバイ用部材、設備機械および印刷インキ等であります。

2 報告セグメントの売上高、利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	203,701
「その他」の区分の売上高	7,257
セグメント間取引消去等	△53,801
四半期連結損益計算書の売上高	157,157

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,924
「その他」の区分の利益	15
セグメント間取引消去	163
全社費用等(注)	△1,398
四半期連結損益計算書の営業利益	6,704

(注) 全社費用等の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社の総務部、経理部等管理部門および国内子会社にかかる費用であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子 (日本)	電子 (アジア)	電子 (欧州)	電子 (米州)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,925	98,916	7,627	26,159	163,629	6,777	170,407
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,610	28,500	1,291	11,883	64,286	1,157	65,443
計	53,536	127,417	8,919	38,042	227,915	7,935	235,851
セグメント利益	1,965	4,279	206	1,802	8,253	57	8,311

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主要な製品および商品はワイヤーハーネス部材、オートバイ用部材、設備機械および印刷インキ等であります。

## 2 報告セグメントの売上高、利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	227,915
「その他」の区分の売上高	7,935
セグメント間取引消去等	△65,443
四半期連結損益計算書の売上高	170,407

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,253
「その他」の区分の利益	57
セグメント間取引消去	45
全社費用等(注)	△1,390
四半期連結損益計算書の営業利益	6,965

(注) 全社費用等の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社の総務部、経理部等管理部門および国内子会社にかかる費用であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。